

特定健診

市では次のとおり健診を実施しています。1年に1回は受診して自分の体を見直してみましょう。
本年度、まだ受診していない人のみ対象です。

●実施期限 平成30年3月31日(土) ※各実施機関の休診日は除く。

健診種類	生活習慣病健診	特定健診	
対象年齢	25歳～39歳	40歳～74歳	
対 象	・合志市国民健康保険加入者 ・加入の社会保険で健診を受ける機会がない人	合志市国保加入者	社会保険加入者
料 金	1,500円	1,500円	加入の保険者に確認してください
受診方法	集団健診	集団健診または個別健診	
実施主体 問い合わせ先	健康づくり推進課		保険証記載の保険者

※空腹状態（できるだけ10時間以上飲食しない）で受診してください。

●特定健診の内容と結果から分かること

検査項目	検査内容	検査項目	検査内容	
身長	肥満度や内臓脂肪の蓄積状態のチェック	中性脂肪	動脈硬化の危険因子	脂質異常
体重		HDL コレステロール		
BMI		LDL コレステロール		
腹囲		血糖	糖尿病	糖尿病
GOT	肝機能	HbA1C		
GPT		尿糖		
γ - GTP		クレアチニン	血管の変化	腎機能
血圧	血管の傷み	尿蛋白・尿潜血		
尿酸		心電図 (※1)		心臓
赤血球 (※1)	貧血の状態	眼底検査 (※2)		脳
血色素量 (※1)				
ヘマトクリット値 (※1)				

特定健診を受けた人の要指導者・要精密者

- ・BMI…………… 5人に1人
- ・血圧
- ・脂質異常 } …… 2人に1人
- ・血糖

※1 個別健診では、医師が必要と判断した場合のみ実施。
※2 眼底検査については、医師が必要と判断した場合実施。

健診実施機関一覧

●個別健診 実施機関に事前予約が必要です。

地域	実施機関	電話番号	地域	実施機関	電話番号
合生	庄嶋医院	242-3388	幾久富	緒方整形外科医院	248-8181
須屋	成松内科医院	345-5151		千年内科クリニック	273-7227
	ナカシマセブンクリニック	288-0777		ひかりヶ丘眼科・内科医院	348-6305
御代志	かたやま内科・漢方クリニック	273-6960	栄	和み内科診療所	248-7534
	平山内科クリニック	273-6104		宮川内科医院	248-2155
	森本整形外科医院	242-2231	竹迫	大森医院	248-0003

●集団健診 集団健診期間は終了していますが受診は可能です。事前にお問い合わせください。

地域	実施機関	電話番号
菊池市	菊池養生園	0968-38-2820

特定健診受診率 低迷
平成28年度 30.5%

●問い合わせ先 健康づくり推進課 健康推進班（西合志庁舎）
☎242-1183

病院を受診している人も健診は必要です

平成28年度の市の受診率は30・5%と過去最低の数値。県内でも45市町村中ワースト3位と低い受診率です。

健診を受けない理由として「結果が怖い」、「健康に自信がある」、「とささまありませんが、一番多いのは「医療機関を受診しているから必要性を感じていない」という回答でした。本市の特定健診未受診者のうち57%は医療機関を受診中で、全国平均・県平均より高い状況です。

本来、特定健診は内科などを受診中、治療中の人も対象です。治療している項目以外の検査もあります。例えば、血圧を治療中の人が健診を受けたことで、血糖や腎臓の治療も必要と分かることもあります。

健診で早期発見することで、重症になる前に予防することができます。ぜひ、この機会に健診を受診してください。

私たちは医療機関を受診中だから健診は必要ないですね。

体はどうもないのに健診は必要ですか？

いいえ。健診は年に1回体を見直すために必ず受けてください。

生活習慣病はほとんどの場合自覚症状がありません。放って置くと知らぬ間にどんどん進行します。

体内の心房細動により脳梗塞につながるリスクが高まる

ちょっとコラム

先日、「心原性脳梗塞」についての研修会に参加しました。そこで元氣な60代女性が熊本地震による避難生活のストレスで脈拍が1分間に100回以上になり、受診すると心房細動と診断され即入院、手術となり脳梗塞を事前に防ぐことができたという事例の紹介がありました。

正常な心臓は安静時に60～100回拍動しますが心房細動になると心房は1分間に300回以上になり、心臓が速く不規則に拍動するため血栓をつくる原因となります。この血栓が脳動脈に流れ込むと、比較的大きな動脈を突然詰まらせ、死亡や寝たきりになりやすいといわれます。身体の変化に早めに気づいて治療の出来たケースでした。

心原性の脳梗塞を防ぐためには、普段の体重管理や食事や運動などの生活習慣の見直しが必要です。そのためには毎年健診を受け、自分の体を知ることが大切であることを再確認しました。